

日本共産党 和歌山市公議員

# ひめだ高宏ニュース

No. 1076

'15.10.27

## 宮城県議選で共産党4.8倍増

木枯らしー号が吹き、朝晩冷え込んできました。ホットなニュースが届きました。25日投票の宮城県議選(定数59)で、日本共産党は4議席から8議席に倍増、中央党学校と同じ班だった福島がえんさん(定数3)の仙台市若林区で前回31票差で惜敗が、今回2位で初当選したことが何よりうれしい。

## 日本共産党 和歌山県地方議員学習会

10月20、21日、白浜で行われた県下の日本共産党地方議員学習会の一日めは、3人の外部講師による①医療保障・介護保障をつくる、②地方創生について、③紀

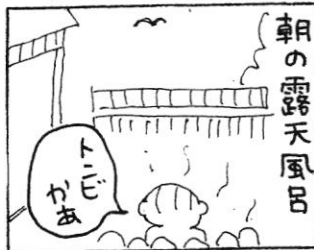
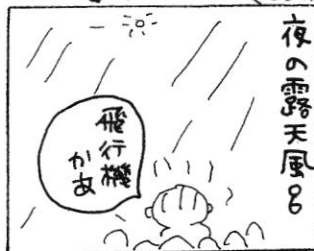
ました。公的医療費抑制として、受診抑制や供給抑制診療報酬の引き下げが行われ、その一環として国民健康保障の都道府県化が行われ、水るといふ恐ろしい話でした。

①では、国における「地方創生」のぬらいつと県や市町村でどのような取り組みがされようとしているのかという話でした。晩婚、非婚で少子化など人口減少が止まりません。国は、ここに歯止めをかけ2060年に人口1億人で安定させるつもり...だとか!!

## フツの 人々



859



特徴ある景観という壮大な自然の歴史と和歌山県の気候、主には雨にあって、その地層や地形がもたらす災害についての話でした。

## 今週のフツの人々 (その22)

### 白浜温泉で極楽味わう

10月20、21日、県下の日本共産党地方議員の学習会が白浜「むろべ」で開かれ、市議団も全員参加しました。泊まり二日の学習会というのは、私が初めて議員になった頃に、やはり白浜で行われた記憶がありますが、ホントに久しぶりでした。中村あさと市議の車に乗せてもらって行ったのですが、優秀なナビシステムのおかげで、いろいろ楽しいこともありました。

2日めは、高田前県議の林業調査報告、松坂県議の地方公共交通の報告。他に自治体の非正規労働者の実態報告などがありました。



ひめだ高宏

# 「赤旗まじり」ひめだ食堂<sup>開店</sup>

11月8日(日)片男波公園で「和歌山県赤旗まじり」を開きます。小池晃日本共産党副委員長が朝のNHK「日曜討論」に出席したあと駆けつけするため、記念講演は14時40分から15時20分までとなり、終了時間が30分延びました。

南ブロッコ後援会の出店は「ひめだ食堂」。焼き魚、生ビール、カレー、炊き込

☆参加券(樽播店お買い物券)200円付き/1000円

☆お宅から会場までは後援会送迎バスをご利用ください。詳細は後援会世話人さん、または私、ひめだまで。

## 赤旗まじりバザーの品物募集中です

前々方で赤旗まじりのバザーの品物を募集したところ、「協力します」と電話をいただいたり、品物が届けられたりしています。

☆お宅から会場までは後援会送迎バスをご利用ください。詳細は後援会世話人さん、または私、ひめだまで。

☆お宅から会場までは後援会送迎バスをご利用ください。詳細は後援会世話人さん、または私、ひめだまで。

# 日本共産党

## 国民連合政府への期待

戦争法廃止をめざす国民連合政府の呼びかけを中心に、県下各地で行われるついでに懇談会に参加し、みゆさんの声を聞かせていただいています。

日本共産党の提案に「うまい時代」になってきた。10月19日の一斉行動は、各地でうれしい反応が。私も元気がわいてきます。

と知らせていきたいと街頭宣伝が広がっています。10月19日の一斉行動は、各地でうれしい反応が。私も元気がわいてきます。

朝日新聞の世論調査で野党の選挙協力に期待しているのが48%に上ったという記事がいまどこに行っても話題になり、これが自信になって国民連合政府をもつ



さかぐち美子 (参院選挙区)

# 大門みきし<sup>参院議員</sup> からおやがエッセイ

「福太郎さんのこと」

9月末に風邪をこじらせて急性肺炎になり、20日ちかく入院・療養しました。病中、たくさんの方にご迷惑、ご心配をおかけし、またフォローもしていただき、ありがとうございました。おかげで私も心から感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました。

38度以上の熱が数日つづくとあらぬことを考えてしまったもので、妻に何か欲しいものがあるかと聞かれ、天むすへえび天の入ったおにぎりかと答えました。おそらく、この世の最後に食べたいと思ったのが天むすだったのでしょうか。

同じ病室の福太郎(仮名)さんとお話しするうちに、身よりのない72歳。重い病氣にもかかわらず、いたってのんびり自

由人で、病室でたばこを吸ったり、用もないのに呼び出しボタンを押したり、いたずらばかりしていました。女性の看護師さんたちも慣れたもので、けっして怒らない。お見舞いに来る人がいてあげていました。福太郎さんを見てみると、あまりに風託がなく、人間、なにが幸せかわからないと思っていました。

退院する日の朝、福太郎さんにあいさつしようとして、カーテンの中をのぞいたら、平穏な顔でまた眠っておられました。

病院を出て、秋色に変わる街路樹を見ながら、誰でもないかはお迎えがくる。そのときは、何が食べたいなどと騒ぐことのない人間になっただい、思いました。